草加光陽育成会だより

障害があっても楽しく生きていくために

草加光陽育成会　会長　森田　とし子

平素よりご支援ご協力いただいております皆さまに心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は５類になりましたが、インフルエンザと重なりまだまだ油断できない中いろいろな事業が再開されています。障害のある方も余暇を楽しんでいますか？

障害のある方の余暇活動は、就労、学習、文化、スポーツなどと同様に社会参加の一つであり自立の基礎となりうるものと考えられ、余暇・遊びの中から生活力や友人との付き合い方、折り合いのつけ方などを学んでいくと言われています。生活の質の向上を考えるとき余暇時間の過ごし方が充実していることが大切です。障害がある方が自宅と施設あるいは職場を行き来するだけの生活でなく、その人にあった余暇活動をみつけ楽しく生きていけるよう育成会としてできることを模索しています。活動に参加するための大きな問題として認知段階にもよりますが、活動場所に行くまでの移動があります。親の高齢化に伴い移動支援の利用を必要とされる方が増えていくと思われます。これからの支援がより充実されることを期待しています。

草加光陽育成会では障がい児者の余暇活動への取り組みとして、スポーツ広場、料理教室、よさこい、舞台鑑賞（わっぱまつり）、ボウリング大会、スポーツ大会、旅行、クリスマス会など幅広く行っています。

また、イベント等に参加しにくい方にも楽しさを体験していただけることを目的に施設参加型のスポーツレクリエーションも始めました。草加光陽育成会がこのような障害のある方たちの余暇活動に力を入れることができるのは賛助会員様、及び会員の皆さまのご理解、ご支援によるものと深く感謝申し上げます。

これからもよろしくお願い申し上げます。

第１回草加市障がい者施設交流スポーツ大会

令和５年９月 22 日（金）午後１時～２時 45 分

会　　場：草加市スポーツ健康都市記念体育館メインアリーナ
参加施設：光陽会希望の家、Lento、あある、蒲公英の丘、ＹＵＩＷＯＲＫ
目　　的：交流レクリエーションに参加し楽しい経験を体験することで社会参加のきっかけにする

～　参加職員の感想　～

最初は戸惑っている利用者もいたが、少しずつなじめてよかった。
人とふれ合う機会をこれからも増やしていきたい。

障害のある子の「親なきあと」講演会

2023年10月10日（火）草加市中央公民館ホールにて

講師　**渡部　伸**　氏

講演会に参加して・・

誰もが色々悩んでしまいます。ましてや、その子に障害があれば尚更のことです。しかし、親がなくなったあとの問題を親が解決することはできません。これはもう地球上から、どうすれば戦争がなくなるか?という問いに答えるようなものです。 答えの出ない問題の答えを見つけるとなると、それは単に苦しく、辛い毎日で修行僧のような世界です。「悩みは深く考えず、整理整頓」と言った人がいますが、まずは渡部先生がお話したように親が生きている間に、最低限の準備をしておくことが大切になります。

そして最後に、「いざとなったら何とかなる!」 そんな身もフタもないような先生の言葉。しかし、それはひとつの真実を明らかにしているように思います。 心にゆとりを持ち、できることから準備していこうと考えているこのごろです。

榮光の家　小澤 進

「親なきあと」の講演を聞き、色々な課題を考えさせられました。お金の準備、障害者扶養共済制度、後見人制度、サービス内容等、色々な制度があり、とても勉強になりました。

私自身もこれから多数の人の意見を聞き、子どもの将来の事をもっと考えて勉強していきたいと思います。

最後にあまり悩まないで、どうにかなるさの考えで準備したいと思います。

西れんげ草　切敷 裕広

障害のある子の「親なきあと」講演会を拝聴しました。親なきあとについては、光陽会としても重要なテーマであり、信託制度や後見人の問題など、有意義な話を聞くことができました。親なきあとを考え、グループホーム入居を検討される時に課題になる、お金の問題の解決の糸口となる、非常に参考になる内容でした。

最も感銘を受けたのは、親なきあとに大切なことは、その方をチーム全体で支えるという言葉でした。当法人も令和元年に相談支援センターを立ち上げ、相談支援員が中心となり、通所施設、グループホーム、移動支援事業所等々と連携し、次のライフステージの実現に向けて、チーム協同を法人全体で推進しています。渡部様のお言葉により、光陽会が大切にしていること、そしてチームの努力の積み重ねが、正しい道であるということを確信できました。これからも、利用者の皆様お一人おひとりの人生を、末永く豊かなものとするために、更なる研鑽を重ねていく決意を新たにしました。

結びに、本講演会の開催にあたり、計画立案、広報、当日の運営までにご尽力されました、草加光陽育成会役員の皆様に、貴重な勉強の場を与えていただきましたことに感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。　　社会福祉法人光陽会　小川 泉

草加光陽育成会 第49回 クリスマス会

2023年12月３日（日）　草加市勤労福祉会館ホールにて

希望の家「世界一つだけの花」手話表現

サンタも登場!?
クラウンじんごろう
パフォーマンス

カーレット体験
的に入ったかな？

みんなで「コバトンよさこい」

欲しいものを釣ったり
わなげでドリンクGET
お菓子もいっぱいつかめたよ!楽しかったね★

● 草加警察署にて講座を行いました ●

警察署員76名参加!

８月29日（火）10時30分～11時45分、草加警察署にて「障がい者の特性について」のテーマで講座を行わせていただきました。「知的障がい、自閉症の疑似体験」、「障がいの特性について」、「親の立場から警察にお願いしたいこと」をお伝えしました。

知ってほしい
知的障害の「特性」

草加光陽育成会（草加市手をつなぐ親の会）
八潮市手をつなぐ親の会

【知的障がい、自閉症の疑似体験】

1、やってみよう
2、描いてみよう
3、見てみよう

【草加警察署長さんから】

本日は、それぞれの障がいの特性に関する教養をおこなっていただきありがとうございました。本日の教義を通じて警察官が障がい者の方が地域で住みやすくなるお手伝いができればと思います。

これからも地域福祉を大切に

社会福祉法人　光陽会
理事長　大橋　愛子

令和5年（2023年）もあとわずかとなりました。新型コロナウイルス感染者数の減少とその位置付けが2類から5類になり、今年度の当法人各施設の事業計画は、ほぼ予定通り執り行われています。

また、令和5年11月2日埼玉県社会福祉大会に於きまして、当法人の役職員が以下の通り受賞致しました。この場をお借りして、報告させて頂きます。

日頃、皆様からのご指導・ご協力のおかげです。感謝申し上げます。職員一同、今後も研修を積み利用者様に寄り添い、支援に努めます。

また、地域福祉に貢献して参ります。

埼玉県知事表彰受賞者

（現に社会福祉施設職員・団体関係者・事業従事者として18年以上従事し、その功績等みとめられる者）

理事長　大橋　愛子
副理事長　小川　泉
榮光の家施設長　齊藤　誠

埼玉県社会福祉大会　会長表彰受賞者

（現に施設団体の職員であって、その在籍期間が15年以上で、功績顕著な者）

青空の家　植西　孝之
青空の家　仲間　貴廣

令和5年度賛助会員

草加松原ロータリークラブ　会長　山崎 秀美　様
草加市商店連合事業協同組合　副理事長　佐々木 一男様
ボランティア草加連絡協会　会長　齋藤 幸子　様
株式会社篠宮工務店　代表取締役　篠宮 亮　様
株式会社ウシヤマ設計　代表取締役　牛山 信康　様
アサヒリフォーム有限会社　代表取締役　吉村 暁　様
光陽会評議員選任・解任委員会委員長　内藤 一夫　様
社会福祉法人光陽会　理事　佐藤 冷子　様
税理士法人　L&Cアシスト　長谷部 健一様
青柳山谷町会　森永 功　様
田川 雄三　様
秋山 恵美子　様

※順不同
※お名前の掲載許可を頂いた個人・団体の皆さまのみ

賛助会員募集中

賛助会員を募集しております。
詳しくは、お近くの会員にご連絡ください。もしくは、ホームページをご覧ください。

https://www.soka-kouyouikuseikai.com/

・・ 編集後記 ・・　新型コロナウイルスが５類に引き下げられ、ようやくかつての日常が戻ってきました。中止が続いたイベントも次々開催され、人々の心に活気が出てきたように感じます。今号の発行にあたり、ご協力頂きました会員様および関係者の方々に厚くお礼申し上げます。　広報　玉木・川井